

# 東お多福山の歴史と生物多様性

東お多福山では、1940年頃まではいろいろな草花がみられるススキ草原が広がっていました。この草原は草刈り場として利用されていました。刈り取られたススキは、茅葺き屋根の材料や、田畑の肥料、田畑を耕すために農家が飼っていた牛や馬のエサとして使われていました。毎年のように草が刈り取られ、木が生えることができないために、東お多福山はずっと草原だったのです。

しかし、わたしたちのくらしは1950年代に石炭・石油、ガスや電気、金属製品・プラスチック製品を利用するくらしに変わり、薪や柴、ススキなどの植物を使わないものになりました。

ススキが刈り取られなくなった東お多福山では、草原の縁から徐々に森に変わっていき、草原の面積はだんだん小さくなっていきました(図1)。また、ススキの勢力が弱くなり、かわりにネザサの勢力が強くなって草原の中が暗くなり、植物の数はとても少なくなりました。

このように、少なくなってしまった草原の植物やススキ草原の景色を取りもどそうと、2007年秋からネザサの刈り取りがはじまりました。2013年現在、草原の一部がススキ草原にもどりつつあり、スズサイコやオミナエシ、オケラ、キキョウなどの草原でしか見られない植物が増えはじめています。

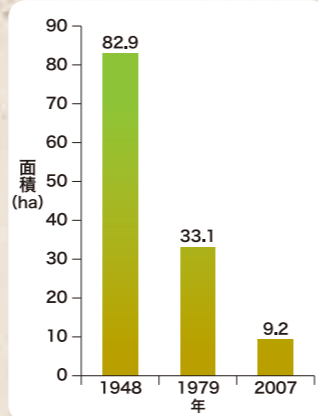


図1 草原面積のうつりかわり



## 行き方

阪神芦屋駅、JR芦屋駅、阪急芦屋川駅から阪急バス(80系統、または81系統)に乗り、東お多福山登山口バス停で降ります。登山道を45分歩けば、そこは六甲山地最大の草原がひろがる東お多福山山頂です!

編集：東お多福山草原保全・再生研究会  
 協力：橋本佳延(兵庫県立人と自然の博物館)  
 イラスト：阿部紀子  
 写真協力：スカイマップ株式会社  
 発行：東お多福山草原保全・再生研究会  
 印刷：株式会社光陽社  
 発行年月日：平成25年3月8日  
 改訂日：平成31年3月1日

この冊子の作成にあたっては平成24年度科学研究費補助金若手研究B(課題番号:23701026)の成果の一部を使用しています。この冊子は公益財団法人大阪コミュニティ財団「東洋ゴムグループ環境保全基金」の助成を用いて印刷しました。



# 六甲山地 東お多福山 生きものゆたかなススキ草原をめざして



東お多福山草原

東お多福山は神戸市と芦屋市にまたがる六甲山地最大の草原です。昔は秋にはススキの穂が一面に広がる景色でしたが、今はネザサが茂り、生きものが少なくなっています。かつてのような生きものがたくさんみられる草原を取りもどす活動が今、始まっています。



東お多福山草原保全・再生研究会

# 取りもどしたい東お多福山草原のすがた<春>



春の花は、どれも草丈くさたけの低いものばかりです。毎年ネザサを刈り取ると、地面にたくさんかの光が当たるようになり、これらの花が咲くことができます。



ネザサ



しげしげりすぎたネザサの下は暗く、他の植物は生えることができません。

刈り取り前(2007年)



刈り取り直後(2007年)



管理開始2年後(2009年)



管理開始5年後(2012年)



刈り取り前はネザサがほとんどであった東お多福山草原も、刈り取りを毎年続けていくとネザサが少なくなって、かわりにススキや草花が増えていきます。

たふくやま  
取りもどしたい東お多福山草原のすがた<夏>



トダンバ

ススキ

ササユリ

キキョウ

カワラナデシコ

オミナエシ

オトギリソウ

オオバトシボソウ

オカトラノオ

ノアザミ

ヒメヤブラン

スズサイコ

夏は植物が一番茂る季節。草刈りされている草丈の低いススキの草原では草原にしか見られない草花が元気に葉を広げます。今では少なくなったキキョウやスズサイコも咲いています。夏の花にはいろいろな昆虫がみつや花粉を集めにやってきます。



草原を上手に守るためには、草刈りすることで、どんな草花が回復しているかを定期的に調べることが大切です。



夏にネザサを刈って、ネザサの下の草花に光がたくさんあたるようにしています。また、他の季節に刈るよりもネザサの勢いを弱めることもできます。



夏のおわりから秋にかけてはハイキングシーズン。草刈りされている草原では、お弁当を食べたり、さまざまな草花や動物に出会い学んだりして、楽しくすごすことができます。

たふくやま  
取りもどしたい東お多福山草原のすがた<秋>



ススキ

マルバハギ

シラヤマギク

リンドウ

アキノリソウ

スズサイコ

ツリガネニンジン

オケラ

リュウノウギク

センブリ

ワレモコウ

秋になればススキがたくさん穂をのぼし、一面銀色の風景になります。ススキの穂の間にはシラヤマギクやツリガネニンジン、オケラ、センブリ、リンドウなどのさまざまな草花がみられます。



昔は東お多福山のススキ(上)も茅葺き屋根(下)に使われていましたが、今は残念ながら使われていません。

草刈り



刈り取った草を集め、草原の外に運びます



東お多福山草原に、2~7ページで紹介した絵のようないろいろな草花がさき、ススキの穂が一面に広がる風景をとりもどそうと、多くの方が刈り取りの活動に参加しています。